



議会だより

157号

6月定例会号
令和8年7月31日発行

■ 常任委員会	2
■ 議決結果	3
■ 村政を問う 一般質問	4～10
■ トピックス	11
■ 夢・私たちに。「わたしのひとこと」	12

避難所環境改善事業で物品の充実

主な議案の審査内容

議案第39号 財産の取得

議案の概要
村営北部グラウンドの照明LED化のため、照明器具のリース契約を締結。期間は5年間で、満了後は所有権が無償で村へ移転する。

議案第40号 物品の取得

議案の概要
避難所環境改善事業として、折りたたみ式ベッド1500台、乳幼児用段ボールベッド45台。金額は2029万5千円。

議案第41号 物品の取得

議案の概要
パーテーションテント450台。取得金額は881万1千円。

〔質疑・意見〕

問 単価と保管場所は。

答

折りたたみ式ベッドが1台約1万2千円、乳幼児用段ボールベッドが1台約1万5千円、パーテーションテントが1台約1万8千円。保管場所は、南部地区は東部ポンプ室、中部地区は多目的研修集会施設、北部地区は防災倉庫の予定。

議案第44号 児童福祉法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例

議案の概要
児童福祉法等の改正に伴い、児童虐待の定義を引用する条文を明確化し、法令との整合を図るための改正。

陳情第1号
社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める
国への意見書提出を求める陳情書

陳情者より趣旨説明。

誰もが安心して老後を迎えられる社会を維持するために、社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重審議を求める意見書の提出を、衆参両院と国の関係機関に対し求めるもの。

〔質疑・意見〕

説明者に対する質疑

問
介護保険は大北地域で広域的に運営している。この陳情は大北地域の議会にも提出されているのか。

答
（説明者）大北地域では現時点で白馬村議会のみ。

〔討論〕

反対
本陳情は大北地域では白馬村議会のみで提出とのこと。意見書を提出するのであれば、大北広域で議論し、意見をそろえた上で行うべきであり、当村単独で提出する意義は乏しいと考えるため、不採択。

賛成

制度改正によってサービスの質や利用者負担に影響が生じるおそれがあることから、今の段階で地方から懸念の声を上げることが意義があると考え、採択。

継続審査

現在国会で審議中であることから、直ちに採択・不採択を判断するのではなく、今後の審議状況も踏まえて引き続き検討するため、継続審査。

大規模開発に関連した村道の認定



村道路線の視察

詳細はHPに掲載の各委員長報告をお読みください。



※各委員長報告は、正式に公開される「会議録」と違い、審議内容（発言）を要約し本会議場で発言する原稿として編集されたものです。

議案第42号 村道路線の廃止について

議案第43号 村道路線の認定について

議案の概要
八方・八方口地区大櫓川沿い村道2142号線を廃止し、村道2282号線を認定するもの。

〔質疑・意見〕

問
認定される村道は、新たに土地を取得して作るのか。

答
村ではなく、事業者が取得し造成後、村が帰属を受ける。

問
現状は草まみれで道として何とか機能している状態。今後の活用をふまえ、もう少し利便性を考えられないか。

答
管理については事業者と協議をしながら調整をしていきたい。今回認定される道路の付け替え箇所については、事業者が4メートルぐらいに拡幅整備を行う計画。事業開発区域内の歩道整備も含まれるため、地域の公共性や利便性が向上すると考えている。

第2回定例会 議決結果

議案番号	案 件	総務社会 委員会	産業経済 委員会	議決結果
報告第2号	損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について	委員会付託なし		報告
報告第3号	令和7年度白馬村一般会計繰越明許費計算書について			報告
報告第4号	令和7年度白馬村下水道事業会計予算繰越報告について			報告
承認第2号	損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について			承認
承認第3号	白馬村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の専決処分報告について			承認
承認第4号	白馬村税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について			承認
承認第5号	白馬村都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について			承認
承認第6号	白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について			承認
承認第7号	令和7年度白馬村一般会計補正予算（第8号）の専決処分報告について			承認
承認第8号	令和7年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）の専決処分報告について			承認
承認第9号	令和7年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）の専決処分報告について			承認
承認第10号	令和7年度白馬村水道事業会計補正予算（第4号）の専決処分報告について			承認
承認第11号	令和7年度白馬村下水道事業会計補正予算（第4号）の専決処分報告について			承認
議案第39号	財産の取得について	○	－	可決
議案第40号	物品の取得について	○	－	可決
議案第41号	物品の取得について	○	－	可決
議案第42号	村道路線の廃止について	－	○	可決
議案第43号	村道路線の認定について	－	○	可決
議案第44号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	○	－	可決
同意第3号	白馬村農業委員会委員の任命について	委員会付託なし		同意
同意第4号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
同意第5号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
同意第6号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
同意第7号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
同意第8号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
同意第9号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
同意第10号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
同意第11号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
同意第12号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
同意第13号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
同意第14号	白馬村農業委員会委員の任命について			同意
議案第45号	工事請負契約の締結について			可決 (反対：伊藤)
議案第46号	物品の取得について			可決

陳情審議結果

番号	案 件	総務社会委員会	産業経済委員会	議決結果
陳情第1号	社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める 国への意見書提出を求める陳情	○	－	不採択 (賛成：鈴木、伊藤)

一般質問

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

質問者一覧

白馬ナイトデマンドタクシーの通年化は
太田 学 5

今後の消防団像と団員確保策は
切久保 達也 6

公衆トイレは「経営ビジョン」でいう
インフラに含まれるのか
永井 勝則 7

立地適正化計画（コンパクトな街づくり）の
具体案は

酒井 洋 8

村の防災体制は十分か
鈴木 均 9

観光局事務局長は定款に一般公募とあるのか
伊藤 まゆみ 10

フォトニュース



松川村・小谷村・白馬村議会議員交流会（令和8年7月6日）

問 白馬ナイトデマンドタクシーの 通年化は

答 需要を見極めて検討



太田 学

【地域公共交通について】

問 令和7年度冬の白馬ナイトデマンドタクシーの実績は。

答 運行期間は12月15日から2月28日までの45日間で、予約件数は3242件、乗車人数は5809人、相乗り率は53・39%、1日平均乗車人数は76人。アプリ登録者は9369人で、うち新規登録は1850人。満足度は5段階評価の最高評価が97・59%でした。一方、配車不成立は1日平均19人で、17時から18時、22時から23時に集中し

ました。

問 冬期以外でも運行できないか。

答 冬期の運行は、インバウンド客の増加や泊食分離のニーズ、民間タクシーの供給体制の限界などを背景に、公共交通として運行してきました。一方、冬期以外は通年運行を求める声が多くなく、夏期は自家用車での来訪が主体で、既存の民間タクシーで需要を賄えていると見ています。現状では、公的施策としての通年運行は直ちには考えていませんが、必要性が生じた場合には検討します。

【外来生物について】

問 外来植物対策の
今後は

答 地域連携で
継続対応

問 村内の外来植物の分布状況は。

答 総務課でパトロールや住民通報を基に現地確認を行っています。オオキンケイギクは、令和7年度に白馬高校植物班と村内180か所を調査し、分布を地図化しました。ハルザギヤマガラシは、令和5年度に繁茂状況を確認し、令和6年度以降の駆除範囲を地図に記録しています。セイタカアワダチソウも、地域団体の活動を通じて把握した36か所を記録しています。

問 重点区域を定めた駆除を進める考えは。

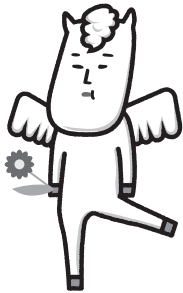
答 総務課が情報を一元的に管理し、道路は建設課、農地は農政課、観光施設は観光課など、所管

答 道路、河川、公共施設、観光施設などを重点区域として、継続的な調査と駆除を進めます。ハルザギヤマガラシは、国道、県道、村道沿線や塩の道沿い、公共施設を中心に駆除を行い、本年度は延べ25名で1150キロを駆除しました。

問 外来植物対策の庁内共有と私有地への対応は。

答 総務課が情報を一元的に管理し、道路は建設課、農地は農政課、観光施設は観光課など、所管

課が対応しています。現在は紙の地図や記録簿での管理が中心で、電子データ化はされていません。私有地は原則として土地所有者の管理責任となりますが、SNSやホームページで駆除を呼びかけ、必要に応じて燃えるごみ袋の提供などを行っています。外来植物は一度広がると駆除が難しいため、早期発見と早期対応を基本に、住民、地区、農業者などと連携して継続的に取り組みます。



白馬中学校SDGsサークルによるオオキンケイギクの駆除イベント

問 今後の消防団像と 団員確保策は

答 多様な担い手確保と環境整備



切久保 達也

【消防団の持続可能性と
地域防災体制の再構築】

問 消防団員の確保が難しくなる中、災害時に実際どれだけの団員が参集できるか把握しているか。
あわせて、役場職員の消防団兼務によるBCP(事業継続計画)上の課題は。

答 現在、団員数は定員250名に対し247名です。入団時の情報は管理していますが、その後の転居や勤務先変更、30分以内の参集可能人数までは把握できていません。役場職員の兼務については、災

ります。活動費についても不足の声があるため、運営実態を把握し、必要な予算措置を検討していきます。

問 観光交通の
将来像は

答 Maas^注活用し
利便性向上へ

【将来の地域交通・観光
インフラについて】

問 ハクババレー内で運行しているシャトルバス事業の成果と課題について、村の認識は。

答 シャトルバスは各スキー場間の移動を支え、観光客の回遊性向上や利便性向上に大きく寄与しています。特に外国人観光客にとって重要な交通手段となっています。一方で、

冬の渋滞による定時性の低下、混雑、運転手不足、運行経費の負担が課題です。

問 今後の白馬地域における広域観光交通を

どのように考えているか。

答 鉄道、路線バス、シャトルバス、タクシー、デマンド交通などを一体的に捉え、分かりやすく使いやすい交通ネットワークを構築していくことが重要と考えています。白馬地域全体を一つの観光交通圏として捉え、県の広域交通計画とも連携しながら検討していきます。

問 欧州のような索道型交通インフラを研究

する考えは。

答 渋滞対策や脱炭素化、観光回遊性向上の面で有効な可能性はありますが、地形条件、整備費、景観、地権者調整など課題は多いです。現時点で行政主導の調査予定はありませんが、索道事業者などから具体的な提案があれば検討していきます。

^注 Mobility as a Service。公共交通など移動のサービスを一つで完結できる仕組み。



6月7日に松川河川敷で開催された白馬村ポンプ操法大会

問 公衆トイレは「経営ビジョン」のインフラか

答 公衆トイレは観光地経営を支える重要なインフラ



永井 勝則

【白馬村観光地経営ビジョン】から見た公衆トイレ政策について

問 「経営ビジョン」でいうインフラに公衆トイレは含まれるのか。

答 公衆トイレは「経営ビジョン」におけるインフラに含まれます。衛生環境の維持や利用者満足度の向上に不可欠であり、観光地経営を支える重要なインフラです。

問 公衆トイレ政策を観光施策に組み込む考えは。

答 公衆トイレは「経営ビジョン」が目指す受入れ環境の向上に関係する施設です。今後観光施策や公共インフラ整備を検討する中で、公衆トイレも対象として位置づけて取り組んでいきます。

問 公衆トイレ整備に宿泊税を活用する考えは。

答 活用は可能です。宿泊税使途活用審査委員会の審査を経て事業として選定されれば、宿泊税を積み立てた「白馬村観光地域づくり基金」を財源として、改修や整備を行うことができます。

問 バリアフリー化やユニバーサルデザイン化を求める村民アンケートの受け止めは。

答 質の高い観光地を目指すという期待の表れだと受け止めています。観光庁のガイドラインでも、多様な利用者に対応した受入れ環境の整備が求められており、村としてもその方向を目指していきます。ただし、全施設を一度に改修することは難しいので、財源とのバランスを考慮しながら、優先順位をつけて進めます。

問 海外の先進的な山岳リゾートの公衆トイレ政策を参考にする考えは。

答 観光課長 村は通年型マウンテンリゾートを目指しており、ツェルマットやサンモリッツなど世界的な観光地の事例は参考になります。課では、こうした観光地のインフラの状況と課題を整理し、どういう方向で村のロードマップに落とし込んでいくかを明確にする、ということをして今年度の目標の1つにしています。

問 「信州まごころトイレプロジェクト」に認

定される公衆トイレの数を増やす計画は。

答 住民課長 認定には洋式化やバリアフリー化などの要件があるので簡単ではありませんが、認定取得を目指します。昨年度整備した「佐野坂公衆トイレ」については、要件の1つであるスロープが除雪作業との兼ね合いで設置できなかったという理由から、認定されませんでした。

問 オリンピック由来の、公衆トイレのある駐車場の活用は。

答 副村長 地区からさまざまな活用案や要望をいただいています。施設の老朽化への対応と合わせて、キッチンカーの営業など地域の魅力向上につながる活用方法について、県への相談や働きかけを行っていきます。

答 トイレの改修については、県に



サンサンパークの公衆トイレと「白馬村観光地経営ビジョン」のQRコード

して要望を出しており、4月に県庁で建設部長に直接要望し、しっかり進めているという返事をいただいています。また、車中泊を管理することで駐車代が取れないかという、地区懇談会でお聞きした要望についても伝えていきます。

問 立地適正化計画 (コンパクトな街づくり)の具体案は

答 都市機能及び生活関連施設の
集積を行い、具体策を推進する



酒井 洋

【白馬駅と神城駅を中心
とした誘導計画について】

問 白馬駅周辺を主要拠点とした都市機能の
集約と交流の実現に対する
具体策は。

答 子育て支援センター
や図書館、学校、病院などの公共性のある施設
については、同区域に緩やかに集積し、住民の利便性
向上と効率的な行政運営が
図られるよう計画を進めて
います。

また、世界的マウンテン
リゾートの玄関口にふさわ

しい拠点とするため、駅前
周辺の電線類地中化事業を
進めています。

問 誘導区域の課題は交
通政策との一体設計
が不可欠であるが公共交通
の利便性向上は。

答 公共交通の利便性向
上のために、ＡＩデマ
ンド交通を活用するなど地
域公共交通計画に基づく交
通体制の構築に取り組んで
います。

問 神城駅は南部の拠点
であるが、誘導区域
の前提となる定住促進住宅
等を建設する考えは。

答 村内に手頃な家賃で
住むことができる「定
住促進住宅」の建設を計画
しています。

このプロジェクトの第一
歩として、住宅を建設する
用地の募集を開始しました。

令和11年度の入居を目指し
ていきます。

問 誘導区域内での住宅
建築において、補助・
税制上で優遇する考えは。

答 区域内への居住や投
資を促す誘導施策と
の連携が重要であると認識
しており、補助、税制上の
優遇についても引き続き研
究を進めてまいります。

問 神城駅周辺における
生活サービスの空白
を埋めるための取組と“特
急あずさ”の停車は。

答 食品や日用品の移動
販売については、民
間事業者によりサービスが
展開されており、民間活力
を主導とした持続可能な仕
組みづくりが望ましいと考
えます。“特急あずさ”の神
城駅停車については引き続
きＪＲ東日本に対して要望
をしてまいります。

問 サテライト化等によ
る高齢者の通院困難
を解消する取組は。

答 白馬診療所について
は、地域に不可欠な
医療機能を担っており、機

器の更新に対する支援を行
い、今後の大規模修繕に対
しても大北市町村で連携し
て支援を行なう方向で進め
ています。
立地適正化計画において
も、こうした医療・福祉機
能を維持、確保しながら、
安心して暮らし続けられる
生活環境の形成に努めてま
いります。



あずさ神城駅通過



神城駅とシャトルバス

問 村の防災体制は十分か

答 専門知識を有する人材任用など、複数体制を視野に研究する



鈴木 均

【避難所案内表示など
宿泊税活用を】

問 村民に配布されているのは「防災マップ」だけ。「地震防災支援マニュアル」が必要ではないか。

答 防災マップには、安全確保・避難誘導等や、安否確認、避難場所・救助活動等の避難行動と救助を記載しており、地域防災計画の改訂にあわせて防災マップも更新を図ります。

問 職員初動マニュアルには、各避難所の担当職員や運営についての記述がないが。

防災食・水・トイレ等は十分か。国の指針を満たしているか。

答 「非常用備品備蓄計画」では、地震被害を想定。食料や飲料水は、2100人を基準に備蓄量を想定。食料や飲料水は、3日間を目安に備蓄率は50%程度。トイレ・ベッド・テント等の生活環境を支える備品は、100%を超えます。毛布やトイレは、まだ10%ほど。国の指針で、食料、毛布、乳児用ミルクなど8品目が示されているが、いずれも基準を満たしていません。

答 避難所に関することは子育て支援課の職員が担当することを明記しています。

問 すべての地区で避難所疑似体験と訓練が必要ではないか。

答 避難所疑似体験や避難所運営訓練は、村が主体となって実施していません。

問 危機管理室または防災室として、もと消防職員等を雇用し、複数体制が必要ではないか。

答 今後、自衛隊や警察、消防等での経験者や防災に関して専門知識を有する人材を任用するなど、複数体制を視野に入れ、研究を進めます。

問 避難所は「良好な生活環境」に必要な簡易ベッド・テント・毛布・

ないか。

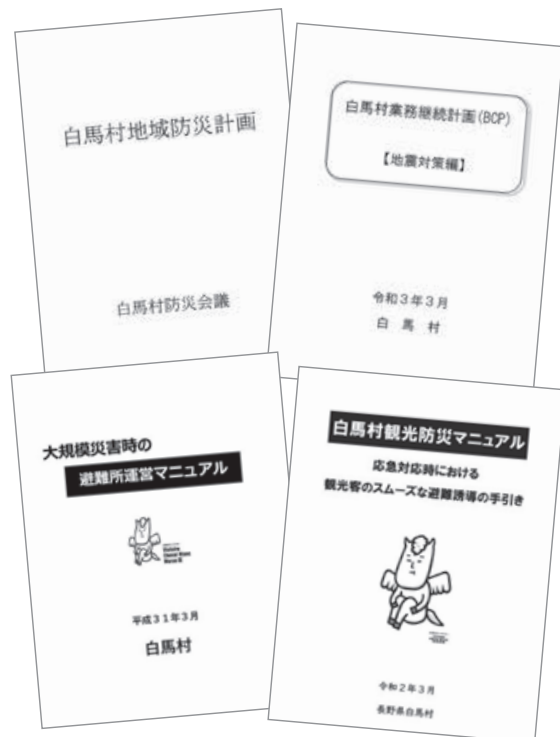
答 「観光防災マニュアル」は英語版を作成しています。防災情報の多言語化などは宿泊税の活用事業に十分なり得ます。

問 一棟貸等、管理人不在の宿泊者への誘導はどうするのか。外国語による防災無線はできるか。

答 個々の宿泊施設が、法律に準じた体制が整備されているかどうかまでは把握していません。外国語の防災無線は対応できないがアプリ等で対応できます。

問 観光防災で実際に訓練が行われたか。今後の計画は。

答 現在一斉同報システムでは、防災無線には対応していません。今後検討。防災観光マニュアルに示した訓練は、村内で実施したことはありません。災害時の対応遅れや地域の混乱が生じる恐れがあることは否めず、早ければ今年11月頃を目途に実施する方向で進めます。



「白馬村地域防災計画」のもと作成されたマニュアル

問 観光局事務局長は定款に一般公募とあるのか

答 選任方法を含め、そのような記載事項はない



伊藤 まゆみ

【村長の立候補時の政策案について】

問 「1. 観光局の在り方」では、理事会にて決定された事務局長の処遇と公募についての質問。定款では『一般公募』となっているのか。また「一般公募」となっているのであれば、直近の事務局長の任期終了後の改選で公募されたのか。

答 観光局の定款では選任方法を含め、事務局長に関わる記載事項は設立当初から現在までありません。また、事務局長人事に関わる定款の変更もあり

ません。また、事務局長人事に関わる定款の変更もあり

ません。

問 「4. 個人事業主の流出」では、「個人事業主は苦境にさらされ、今後は土地家屋を売って村外に流出するのではないか、そしてその土地家屋は資金源豊富な海外投資家が購入し、投機の対象や海外資本による大型施設の流入でこの地の富が流出するのではないか」との懸念を質問の中で述べている。それに対し、「新しい施設にはない既存施設ならではの白馬らしい魅力をしつかりと伝えます」との回答。「既存ならではの白馬らしい魅力」とはどのようなものなのか、また、この4年でこの「しつかりと伝える」ことは何%達成できたのか。

答 民宿発祥の地で、来訪者を家族のように

温かく迎え入れるおもてなしであると思っています。ベストツーリズムビレッジの取得はこの部分を魅力として強く打ち出すものです。取得後も国内外多くの媒体で民宿文化のすばらしさが取り上げられ、既存宿泊事業者の有志で結成する宿泊インベシヨニチムの事業に行政も支援し民宿文化のすばらしさの発信等の取組を推進してきました。しかし、後継者不在やスキーブームの頃からの負債、消費者の行動や嗜好の変化、資材の高騰、円安などの要因で、事業承継支援や国からの補助金等を実施しても土地や家屋を売却するケースがあるのが現状です。

【宿泊税について】

問 前議会がまとめ、令和6年6月14日に提出した宿泊税に関する提言書に観光局の組織見直しがある。行政が検討した組織見直しの具体的な内容は。

答 白馬村観光局は単なる観光PR団体では

なく、宿泊税を含む公的財源を活用し地域全体の持続可能な観光地経営を担うDMOとして、組織内ガバナンスの強化、自立した財政基盤の確保、マーケティング戦略・データ分析等の専門人材の育成、データに基づく政策決定、KPI管理、住民との関係性の構築などの機能向上が重要としています。昨年度、地域公社の設立に向けた可能性調査事業を実施し、収益事業の最

大化と行政負担の軽減を目的とした組織の見直しを検討中です。



宿泊税、何かと心配はありますが
議会は私たちの味方ですよね！
議会は提言書にこんな条件を付けています！！

宿泊税導入に関する提言

- ① 検討過程から丁寧な説明や意見交換
- ② 検討スケジュール、資料、議事録等逐次掲載
- ③ 具体的な使途の提示
- ④ 全宿泊施設に関して地区への関与取り、足での調査、正確な実態把握
- ⑤ 特別徴収義務者の負担軽減
- ⑥ 観光局の基金事業計画はNG

【新たな財源確保に関する提言書】

元々はこれらのQRコードからー

その他の財源確保策及び行政の在り方への提言

- ① 宿泊税以外の財源を検討
- ② ふるさと納税、日帰り観光客からの徴収
- ③ 予算説明文言の「前例踏襲なき経費削減」に本気で取り組む
- ④ 国土調査事業の課税反映
- ⑤ 財政の厳しさを職員で共有、村民向け説明会
- ⑥ 観光局の組織見直し
- ⑦ 議会への検討状況の経過説明
- ⑧ 入湯税の扱いの見直し

以上のように白馬村議会は強く条件付けをし、行政はその（提言書中の）努力なしに宿泊税を導入することは出来ないものであり、我々も、それがなされないよう関係諸団体に働きかけても可決は出来ないことになる。と、力強く意思しています。これ、村民の議会であり、村民が選んだ議員さんたちです！

補足：ちなみに議員の方々、この点はどうお考えですか？
「前例踏襲なき経費削減」とありますが、村民が少額の「リゾリンピック」観光振興行に出かけたのは前例踏襲そのもので、村民の額はともかく「村民会費」の額を分かっていない議員が多いという実態を踏まえていませんか？

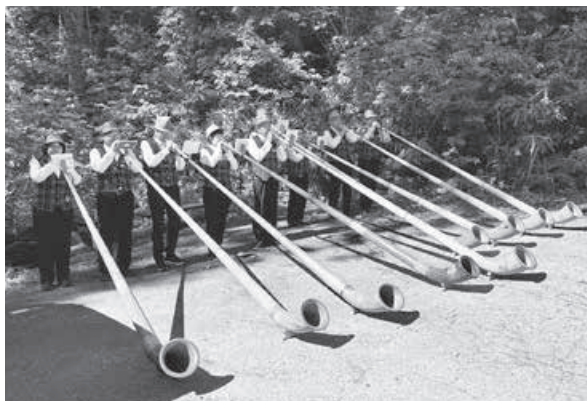
皆さんにお尋ねします！
行政の「これは無駄」と感じる事業はありませんか？そんなムダをお寄せください。

chanan_star@yahoo.co.jp 伊藤家で
（白馬村）アグリバー、スナ、@whitehorse

「宿泊税」に関する提言書の概要

貞逸祭

5月30日 貞逸祭・開山祭が行われました



塩の道祭り

大勢の方に参加していただきました



渡部暁斗ラストジャンプ

6月6日 大勢のオリンピックが駆け付け、花を添えてくれました



湯沢町・御殿場市・山北町行政視察

5月14日 御殿場市、5月19日 湯沢町、
6月22日 山北町 行政視察で来村



議会活動報告

トピックスで紹介している他にも
議会の活動報告をHPでお知らせ
しています。よろしければご覧
ください。



スマホアプリで白馬議会だより配信中！



マチイロ

マチを好きになるアプリ



お気軽に！ご意見をお寄せください！
▶ gikai@vill.hakuba.lg.jp
85-0725(直通) 72-7001(ファックス)

夢、私たちに。

わたしのひとこと



変化の中で

深空 三田 元太

私は白馬で生まれ育ち、南小学校で始めたクロスカントリースキーを大学まで約15年間続けてきました。卒業後は全国各地を巡る仕事をする中で、各地の暮らしに触れてきました。その後白馬に戻り、縁あって10年前から公共土木の現場監督としてインフラ整備に携わりながら、消防団活動にも参加しています。

白馬はインバウンドで人の流れが大きく変わり、新しい出会いが増える一方で、暮らしも少しずつ変わっています。白馬に戻って、気がつけば仕事や地域との関わりも深くなり、立場や年代、文化の違いを越えて互いをリスペクトし、何気ない支え合いが地域の温かさにつながると感じています。

皆さんにとって、白馬の好きな風景や大切な時間はどんなものでしょうか。この場所の良さを、これからも見失わずにいたいと思います。



世界一安全な白馬に

みそら野 ロバート・オーウェン

私は、みそら野で「シャトー・ローザンヌ」というペンションを運営しています。私たち家族はこの場所が気に入っています。冬には、主にオーストラリアからの多くのゲストをお迎えしています。

ここに住んで以来、多くの変化が見られます。新しい建物が次々と建設され、森林が失われていくといった環境の変化もその一つです。これは悲しいことです。もう一つは、この村を訪れる人々への「注意義務」で大きな穴があるということです。老朽化したインフラや不十分な救助体制が、一部の訪問者の命の損失につながり始めています。

昨年は、単に装備や訓練の不足という理由だけで、多くの人々が命を落としました。これは森林を破壊して、ただただ新しい建物の為にコンクリートを流し込むことよりも、この白馬バレーにとって最優先事項であるべきです。



渋谷のOL、白馬村民になる

大出 山岸 杏子

スキーもスノボも未経験という東京の会社員だった私が、白馬の景色に魅せられて移住したのが3年前。移住してみると村で出会う人がとにかく面白く、気づいたら消防団に入り、地域のお手伝いやミニバレーに参加したりと、すっかり村民づらしています。

ヘッドライトと熊鈴つけて飲みに行き、ドラクエのように酒場で仲間ができる村。なんて刺激的（笑）！

おかげで村内どこでも知ってる顔が……。この濃さ狭さが窮屈だと感じる人もいると思うけど、私はむしろ「どこに行っても知り合いがいて楽しい」と思うタイプでした！

「自分たちの住む地域をもっと良くしたい」という気持ちが芽生えたのは、そう思える規模感の村ということと、同じ想いの人が周りにたくさんいる環境のおかげです。

今の目標は山が見える小さなお家を建てること！絶賛土地探し中です（笑）

あとがき

ここ数年の猛暑に耐え切れず、ついに我が家でもエアコンを設置しました。

避暑地と言われた白馬村での夏の変化は気候変動の現実でもありますが、エアコンの室内温度を何度に設定するかが非常に悩ましいことに気づきました。ON・OFFをこまめにするより、

ずっとつけておいた方が効率的に良いのだそうです。こんな話を聞きました。

ある宿のご主人がお客様に「暑い日はエアコンを26℃にしてください」「寒くなったら布団をかけてください（笑）」と言ったとか？

完璧な室温設定を目指すより、合理的かもしれないですね。（酒井 洋）

■ 議会広報特別委員会

委員長	太田 学
副委員長	永井 勝則
委員	丸山 宏充
	鈴木 均
	酒井 洋
	内川 史朗
	丸山 和之
議長	太田 伸子



- 本会議場傍聴席への昇降機を設置しております。足が不自由な方でも傍聴可能です。
- 本会議はケーブルテレビでも視聴できます。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



環境にやさしい
植物油型インキと
再生紙を使用しました。（北辰印刷）